わたしたちの声を　茅ヶ崎の未来に

　7月10日の参議院議員通常選挙から選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられる。18歳なら高校生でも投票が可能となり、有権者が全国で約240万人、市内では約5000人増えることになる。日本の将来を担い、新たに有権者となる18歳の高校生のみなさんが何を考え、茅ヶ崎市にどのような想いを持っているのかを聞いた。

　「たった1票」―。投票に行かない人はそう思うかもしれない。それでもそのたった1票が、今、不安に思っていることを解決できる原動力になるはず。この機会に改めて政治や選挙のことを考えてみよう。そして、みんなの貴重な1票を大切にしよう。みんなが持つ1票1票で、10代の力を世の中に見せる時がきた。

【秘書広報課広報担当】

７月10日の参議院議員通常選挙から選挙権が18歳以上に引き下げられます

山本 裕希さん　Yuki Yamamoto

茅ケ崎高等学校3年生　野球部所属

　生まれたときから曾祖父たちと一緒に暮らし、自分より二世代、三世代上の家族と一緒に暮らすのが当たり前の環境で育ちました。

　曾祖父たちから聞いた戦争の話や若い時の話が、自分の世界を大きく広げてくれました。また、野球の話もよくし、楽しかった思い出があります。今の時代、多世代で住むのが、なかなか難しくなっていると思います。しかし多世代が交流することは自分の人生を豊かにし、とても大切なことだと感じます。

　自分が父親や祖父になっても好きな茅ヶ崎で、家族みんなで暮らし、さまざまな世代の人が助け合えるまちであってほしいと思います。

小山田 夏芽さん　Natsume Oyamada

鶴嶺高等学校3年生　軽音楽部所属

　18歳から選挙で投票できるようになり、若者の声が政治に

反映されるようになります。

　私は生徒会役員をしています。集会や目安箱などで生徒の意見を集め、みんながより良い学校生活を送れるよう努めています。集会など大勢の中では誰もが自分の意見を発しづらいですが、発言しなかった一人一人に話を聞いてみると、学校生活について各自いろいろな考えや意見を伝えてくれます。

　選挙では、私たち一人一人の声を大切にしてもらい、それが反映され、茅ヶ崎市がもっと住みよく、すてきなまちになればと思います。

下島 友梨香さん　Yurika Shimojima

茅ケ崎北陵高等学校3年生　卓球部所属

　私は6月の誕生日で18歳になり有権者になります。選挙に関するイメージが曖昧で、自分が投票するという実感が湧きませんでした。しかし先日、学校で選挙についての講義を聞いて不安や疑問がなくなり前向きな気持ちになりました。

　一人一人が自分の意見をしっかりと持ち、行動に移せば解決できる問題が多くあることを学びました。

　これから投票していく選挙では自分の１票を大事にしたいです。そして税金の使われ方を考え、それが自分の生活にどのように関わっているかを見極めながら投票したいと思います。

田沼 恵さん　Kei Tanuma

茅ケ崎西浜高等学校3年生　野球部所属

　私は、海が近い茅ヶ崎らしい場所で育ちました。湘南祭などの茅ヶ崎のイベントにも家族や友人とよく出掛けます。茅ヶ崎はにぎやかな雰囲気が良いところだと思います。自分の通う学校があり、家族や友人が住む、愛着のあるこの街がもっと活気がある街になればいいなと思っています。

　今後、私たちのような若い世代が社会を支えていく立場として、政治や選挙に無関心でいるわけにはいきません。選挙によって、若い世代だからこその考え方や意見が政治に反映され、みんなの笑顔があふれる楽しいまちになれば、茅ヶ崎をもっと好きになると思います。

模擬投票で選挙を身近に体験

　選挙管理委員会は、3月〜4月に茅ケ崎高等学校・茅ケ崎北陵高等学校・鶴嶺高等学校の3校で選挙に関する出前授業を実施しました。3年生全クラスを対象に選挙の仕組みや、茅ヶ崎市の投票率の現状などを解説。鶴嶺高校ではその後、「未来茅ヶ崎市長選」と題した模擬投票を行いました。投票所の受付や開票時の係なども全て生徒が担い、選挙を体感。最後に「選挙に行こうと思った人」という問いに、ほとんどの生徒の手が挙がりました。　【選挙管理委員会事務局】

　ボランティア団体録音奉仕会のご協力のもと、視覚障害者用に参議院議員通常選挙「選挙広報 音声版」を作成します。ご希望の方は市役所秘書広報課までご連絡ください。【秘書広報課広報担当】